

# 動物園生物学研究センター

## 学生部会 2021年度 活動報告書



動物園生物学研究センター

# 動物園生物学研究センター学生部会 2021 年度 活動報告書

## 1. 動物園生物学研究センターについて

動物園生物学研究センター Zoo Biology Research Center (ZRC) は、岐阜大学技術交流研究会助成を受けて、岐阜大学応用生物科学部 生産環境科学課程 応用動物科学コースの教員・学生有志の活動拠点として、2017 年 7 月に発足しました。また、センターの学生部会が、学生有志により 2021 年 4 月 14 日に発足しました。当センターは、動物園生物学分野の発展を目指す研究・教育推進ネットワークです。

岐阜大学の応用動物科学コースには、動物園等の動物を研究対象とする教員も多く、卒業論文・修士論文・博士論文などで学生が研究に取り組む例も増えてきています。また、動物園・水族館に就職して、飼育・繁殖や保全の最前線で活躍している卒業生がたくさんいます。すでに個別に実施されている研究や人的なネットワークをベースにしながら、分野間や組織間の有機的な連携を進めて、情報発信にも努めることで、動物園等のさらなる発展や希少種保全・生物多様性保全のさらなる推進、そしてそれを支える人材育成等に少しでも貢献できればと考えています。

センターには、動物園水族館動物を対象とした調査研究や動物園・水族館に関連する活動を行う教員と学生、そして動物園・水族館へ就職した卒業生が所属します。現在のところ、動物繁殖学研究室、動物栄養学研究室、動物管理学研究室、動物遺伝学研究室、動物ゲノム多様性学研究室、比較生化学研究室がセンターの活動に参加しています。また、研究室配属前の学生やセンターに関心のある学生は学生部会に所属します。

本報告書は、学生部会のみの活動をまとめたものです。学生部会に所属していないセンター本体の所属学生の活動は本報告書には記載していません。各研究室の HP などをご参照ください。

(センターの教育研究スタッフ)

楠田 哲士 准教授／動物園動物生理学部門 センター長  
二宮 茂 准教授／動物園動物行動学部門 副センター長  
八代田真人 教授／動物園動物栄養学部門  
岩澤 淳 教授／動物園動物生理学部門  
松村 秀一 教授／動物園動物遺伝学部門  
只野 亮 准教授／動物園動物遺伝学部門

(文責：楠田)

## 1. 学生部会組織（2021 年度）

学生部員 21 名

D3 星野 智（代表）

M2 榎屋百恵（副代表）、金谷菜緒（副代表）、田原佑都

M1 大谷 昂、小野ゆきな、みんな、久保井茜、鈴木茉央、山田陵平

B4 川島ひかり、鈴木悠真、寺本晃太郎、野間健佑

B3 荒武朝子、井戸優海、M.O.、小田望由、田中万絢、N.H.、平鍋沙也伽

顧問 楠田哲士

新年度（2022 年度）の代表・副代表は、今年度の代表・副代表による話し合いと被推薦者への意思確認の上、決定した。

2022 年度 代表：榎屋百恵（新 D1） 副代表：大谷 昂（新 M2）、鈴木悠真（新 M1）

## 2. 2021 年度の活動

2021 年 4 月 6 日(火) 前期ガイダンス @多目的棟 202 番	<u>設立集会予告</u> ● B4, B3 の前期全体ガイダンスにて、設立集会開催のチラシ配布（勧誘） ● 大学院生向けに、研究室毎にチラシ配布
2021 年 4 月 14 日(水) 16:30～18:00 @総合研究棟 311 番	<u>設立集会</u> ● 動物園生物学研究センターの設立経緯について（楠田） ● 学生部会の設立経緯・活動計画について（星野）
2021 年 5 月 20 日(木) 17:00～18:30 @オンライン	<u>第 1 回定例会</u> ● 活動計画について再アナウンス（星野） ● 日本動物園水族館協会公表の <u>適正施設ガイドライン紹介</u> （D, M） 各人が動物種を 1 種選択し、記載内容の概要を発表
2021 年 6 月 30 日(水) 16:30～18:00 @総合研究棟 311 番	<u>第 2 回定例会</u> ● 日本動物園水族館協会公表の <u>適正施設ガイドライン紹介</u> （B4, B3） ● 適正施設ガイドラインについて（楠田）
2021 年 7 月 28 日(水) 16:30～18:00 @応生 31 番	<u>第 3 回定例会</u> ● <u>テーマ動物「ゾウ」</u> 発表会 1 栄養（星野、久保井、山田、寺本、N.H） 行動（榎屋、みんな、鈴木(茉)、鈴木(悠)、M.O、平鍋）

	<p>各班がそれぞれの研究分野に関するゾウの基本情報や文献を調査し発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関連学会等の日程連絡 動物の行動と管理学会, 日本草地学会, 時間生物学会, 野生動物保全繁殖研究会, 飼育野生動物栄養研究会 など</li> </ul>
<p>2021年8月30日(月) 13:00~15:00 @オンライン</p>	<p>第4回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>テーマ動物「ゾウ」発表会2</b> 遺伝 (金谷, 大谷, 野間, 小田) 繁殖 (田原, 小野, 川島, 井戸, 田中)</li> </ul>
<p>2021年10月6日(水) 13:00~15:00 @応生33番</p>	<p>第5回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>世界動物園水族館協会の保全戦略の輪読会1</b> Commit, Act, Inspire (D, M2) Hope, Collaborate (M1) 各班が担当する章を読み, 内容をまとめて発表</li> </ul>
<p>2021年11月10日(水) 12:30~15:00 @応生33番</p>	<p>第6回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>世界動物園水族館協会の保全戦略の輪読会2</b> Engage (B4) Preserve, Care (B3)</li> <li>● 関連学会等の日程連絡 エンリッチメント大賞受賞者講演会, 日本動物福祉学会, 野生生物保全論研究会, SAGA など</li> </ul>
<p>2022年3月18日(金) 13:00~15:00 @応生31番</p>	<p>第7回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 記念撮影</li> <li>● 今年度のまとめ (星野) アンケート結果の報告, 幹部の引継ぎ</li> <li>● 来年度の活動について (榎屋)</li> <li>● 関連学会等の日程連絡 ヒトと動物の関係学会, 動物園水族館大学, シンポジウム【動物園教育で対談しよう】 など</li> </ul>

※2021年度の定例会は感染症対策のため, Teamsを用いた完全オンラインまたは対面とオンラインの併用で実施した。同時に Teams 上で録画を実施し, 1週間アーカイブを残した。

(文責: 榎屋)

### 3. 2021 年度の振り返りアンケート結果

2021 年度の活動終了後、各活動内容に関して、学生部員全員を対象に Google Form で振り返りのアンケート調査を実施した。次ページ以降に、アンケートの集計結果を掲載する。

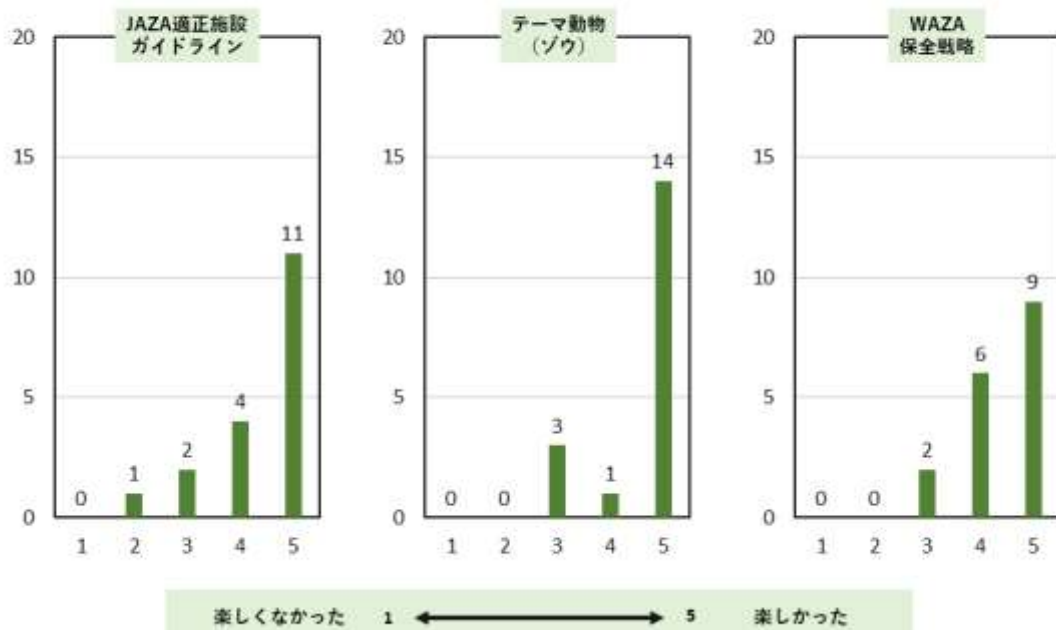
期間：2021 年 11 月 11 日～31 日（20 日間）

対象：今年度の参加者全員（対象 21 名，回答 18 名）

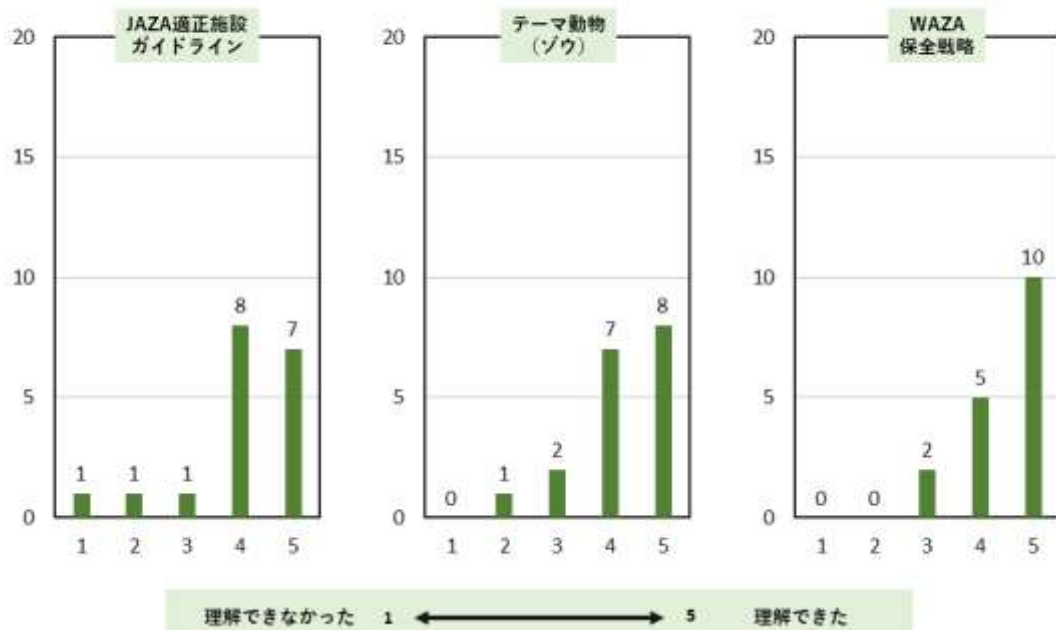
#### 質問

- Q1 全体を通して楽しかった？
- Q2 発表内容を理解できた？
- Q3 今後の参考になりそう？
- Q4 発表準備は大変だった？
- Q5 感想・要望（自由記載）
- Q6 発表形式について

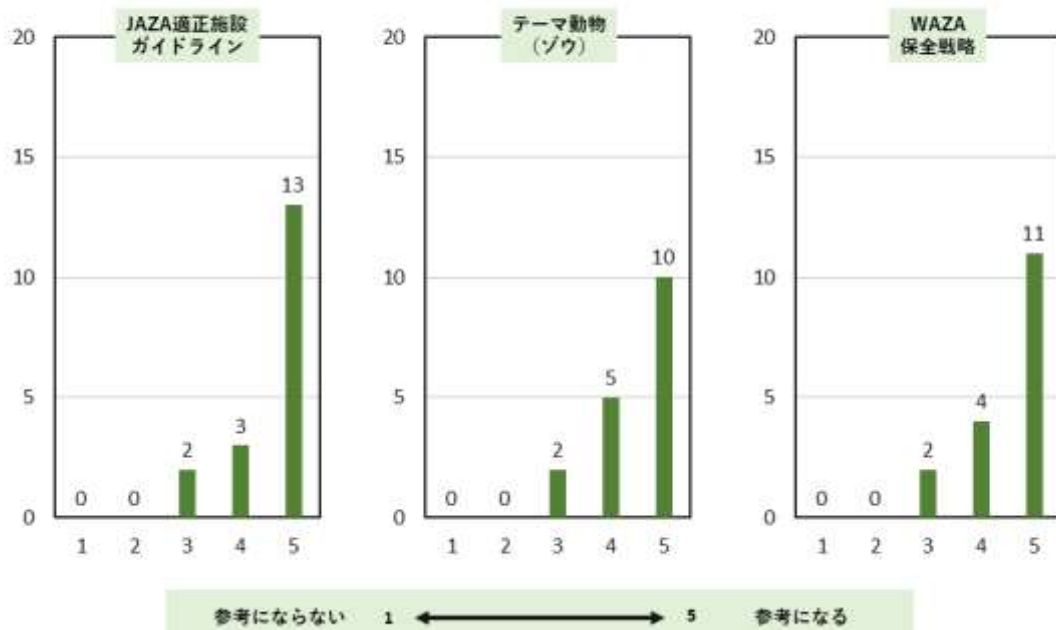
## Q1. 全体を通して楽しかった？



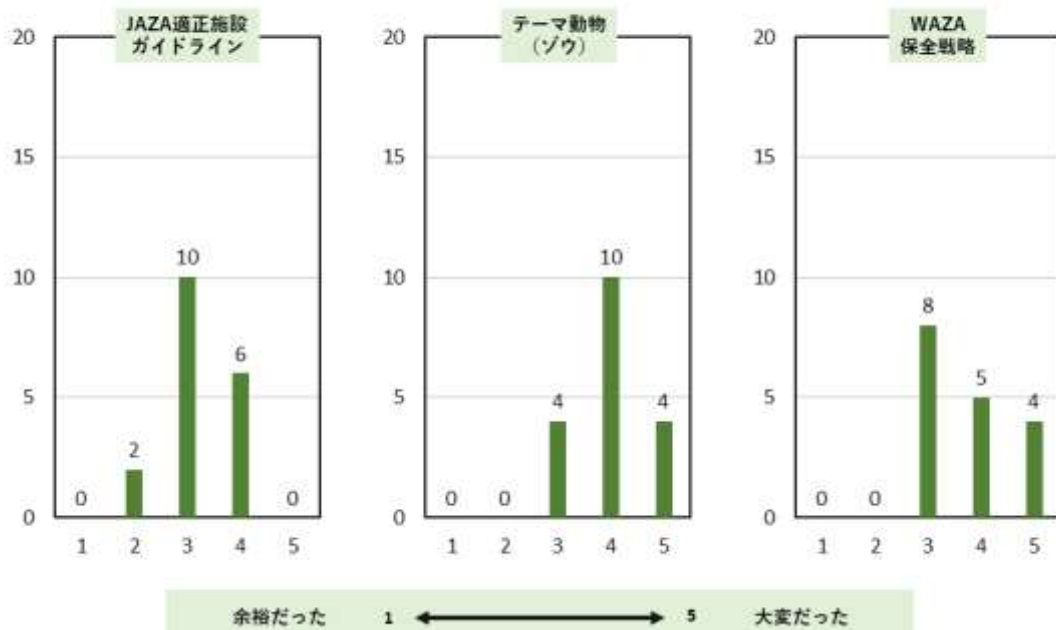
## Q2. 発表内容を理解できた？



### Q3. 今後の参考になりそう？



### Q4. 発表準備は大変だった？



## Q5. 感想・要望 - 適正施設ガイドライン -



個人で準備した分、いろんな種を知ることができてよかった。

・・・まだまだ発展途上という印象が強かったです。

このような状況下で試行錯誤されている**現場の職員さんのリアルなお話**はぜひ聞きたいです・・・。

・・・色んな生物について知ることが出来て良かった。

楠田先生がいてくださったおかげでより話が膨らんだのが印象的だった。



## Q5. 感想・要望 - テーマ動物（ゾウ） -



基本知識はもちろん、最新の知見も多く、  
充実してておもしろかった。深い内容で、非常によかった。  
**準備で他の学年とも喋れたのも良かった**と思う。

今年度は1種のみしかできなかったので、  
発表時間などを工夫しながら、なるべく多くの種について  
調べて共有できるといいと思いました

多方面から1種を見るという勉強の仕方が良いし、  
**こういう機会がないとやらないからすごく楽しかった。**





## Q5. 感想・要望 - WAZA保全戦略 -



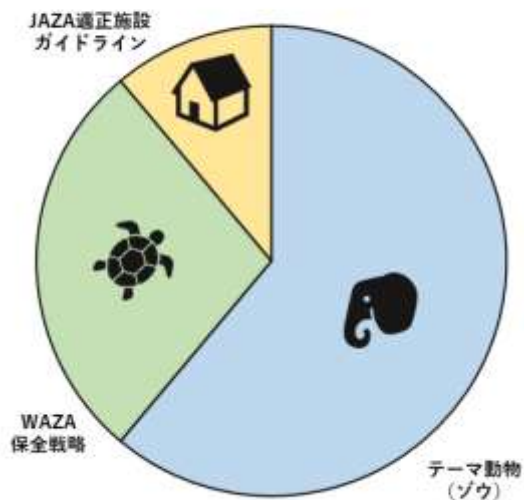
第1年目でこの保全戦略を扱って、教材としてかなり良かったと思う。動物園を学んでいく上で重要な**保全のビジョンを理解**できて、・・・おもしろかった。

・・・自分の行ったことのある動物園や水族館の取り組みを例に挙げて説明されていて、とても興味がわきました。

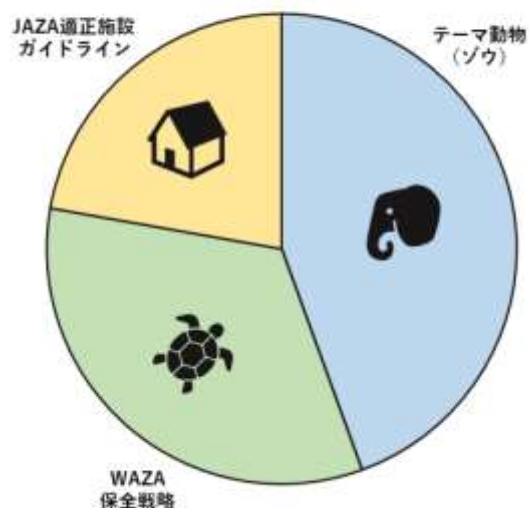
全文を読む、さらにそれについて話し合う、本当に好きな時間でした。テーマ動物の時より内容が動物園全体に共通していたので、**学部生からも話が出やすかった**かなとも思います。

## Q6. 発表形式について

どの形式が楽しかった？



どの形式が準備しやすかった？



(文責：星野)

## 動物園生物学研究センター学生部会 2021 年度 活動報告書

---

2021 年 3 月 31 日 発行 発行 動物園生物学研究センター  
編集 動物園生物学研究センター学生部会  
(榎屋百恵, 星野 智, 大谷 昂)  
動物園生物学研究センター (楠田哲士)

事務局 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1  
岐阜大学応用生物科学部 応用動物科学コース  
動物園生物学研究センター (動物繁殖学研究室内)  
TEL : 058-293-2862  
E-mail : kusuda@gifu-u.ac.jp

---